

京丹後市監査委員告示第1号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第9項の規定により、平成18年度に実施した監査の結果を、次のとおり公表します。

平成18年7月3日

京丹後市監査委員 小松 通 男

京丹後市監査委員 松 本 信 之

1 監査の種類 工事監査（地方自治法第199条第4項の規定による監査）

2 監査の期間 平成18年5月22日から平成18年6月9日まで

3 監査の方法

工事に係る事務事業の執行が、法令等の定めるところに基づき適正に行われているか、また合理的かつ効率的に行われているかなどについて、関係書類の提出を求め、書面審査及びヒアリング並びに現地確認により監査を行った。

4 監査対象等

平成17年度施行工事で、工事請負費が3,000万円以上の中から、規模・重要性・特殊性等を考慮し、次の6件を抽出した。

工 事 名	契 約 日	工 期	契 約 額 (千円)	施 工 場 所
① 八丁浜シーサイドパーク多目的広場等整備工事	H17. 6. 15	H17. 6. 16 ~ H18. 3. 24	80,163	網野町浅茂川
② 市道松江の浦線橋梁新設工事	H16. 12. 27 (明許繰越分)	H16. 12. 28 ~ H18. 1. 20	65,000	久美浜町東本町・土居地内
	H17. 10. 3	H16. 12. 28 ~ H18. 5. 10	60,263	

③ 静の杜整備工事	H17. 5. 25	H17. 5. 26 ~ H17. 8. 10	49,518	網野町磯
④ 宇川統合簡易水道 宇川浄水場新設工事	H17. 11. 7	H17. 11. 8 ~ H18. 3. 27	37,373	丹後町平
⑤ 周枳地区管渠布設工事 (その 39)	H17. 12. 27	H17. 12. 28 ~ H18. 7. 31 (予定)	68,250	大宮町周枳
⑥ 浜詰漁港(夕日泊地)網野漁場 地域水産物供給基盤整備工事	H17. 4. 27	H17. 4. 28 ~ H17. 10. 31	78,750	網野町浜詰地先

5 監査の内容

- (1) 入札事務は適正に行われているか。
- (2) 契約締結事務は適正に行われているか。
- (3) 契約履行の確認事務は適正に行われているか。
- (4) 工事事務は適正に行われているか。
- (5) 工事施工は適正に行われているか。
- (6) 工事請負費の支出は適正に行われているか。

6 監査の結果

各工事の管理、施工、検査及び全般的な事務処理等は、おおむね適正に執行されているが、配慮すべき施工内容も見受けられた。

なお、工事別内容は次のとおりである。

① 八丁浜シーサイドパーク多目的広場等整備工事

海とのふれ合いと憩いの場として、平成6年度から公園整備に着手し、平成20年度に完成予定である。全体事業費は25億900万円であり、平成17年度までに施設計画の78%が完了している。

今後、多目的広場や休養施設、遊戯施設、園路等の整備計画があり、平成18年度から20年度までの3か年で約4億6千万円の事業費を見込んでいます。

多目的広場は、各種イベントやスポーツ、また、憩いの場として利用される予定であるが、施工区域は浜辺に隣接していることから、風雨等に配慮した利便性

と快適性の満足度の高い整備が必要である。

平成 17 年度においては、管理棟をはじめ多目的広場ステージ、園路、雨水排水路等の整備を実施している。

多目的広場の中に設置されたステージ(コンクリート製)は、長さ 20m、奥行き 9m 程度で 185 m²の広い面積があり、高さは 1m であるが、四辺に対して狭小な上り段(幅 1.2m)が一箇所だけしか設けられていないこと等、多目的利用の観点からの考慮が不十分と思われる。利用者の視点からの検討を十分に加え、所期の目的が達成される施設となることを強く望むものである。

併せて、今後の施設管理にあたっては、適切な運営体制と維持管理が図られるよう望むものである。

② 市道松江の浦線橋梁新設工事

アメニティ久美浜整備計画に基づく久美浜湾の埋立地(緑地公園、多目的広場、駐車場等)と既存の浜公園との一体的な利用を図るための連絡橋の設置工事である。平成 16 年度繰越事業として、橋台と擁壁施工を行うとともに、継続して橋梁上部工を実施している。

波静かな久美浜湾に抱かれ、かぶと山や小天橋を眺望でき、風光明媚な場所に位置することから、周辺の景観に配慮した橋梁となっている。また、非階段の緩やかなスロープや手すりの設置等、高齢者や障害者等も安心して利用することのできる設備となっている。

ドラゴンカヌー大会をはじめとした各種イベントにおいて、連絡橋として利便性と集客力の向上が図られ、また、豪商稲葉本家や如意寺等の観光施設が近接していることから、多面的な相乗効果を期待するものである。

なお、維持管理にあたっては、二輪車等の乗り入れも予測され、危険のないよう適切な管理に努められたい。

③ 静の杜整備工事

静御前のゆかりの地である静神社(網野町磯)の周辺を整備し、観光振興を図るため、前年度の駐車場及び案内看板等の整備に引き続き、能舞台風の展望台、遊歩道、トイレの設置及び植栽等の整備を行っている。

事業費は、4,951 万 8 千円であるが、トイレの設置予定場所の変更にともない、給排水自己完結型バイオトイレとしたことにより、331 万 8 千円の増額変更契約

がされている。

能舞台風の展望台は、日本海を見下ろす高台に位置しているが、展望台付近の木製階段が急傾斜であり高齢者等の利用には不安を感じる。また、ベンガラ風の着色塗料も既に部分的に自然剥離しているところが随処に見受けられる。気象条件が悪い所とはいえ、昨年8月の完成後、1年も経過しておらず、今後の管理も含め適切な対応が望まれる。

静神社から展望台に通じる遊歩道は、背後の山越えであるため、木製階段は急峻で高齢者や幼児等には利用が困難と思われる。また、木製であり降雨後はすべりやすいため、注意看板等、危険回避のための適切な措置も必要と思われる。

府道横に設置されたトイレは、男女マークが一枚のプレートに表示されており、入口は一箇所しかなく、内部は男性用・女性用便器が各一個配置され、仕切りのない男女共用となっている。男女トイレがあっても同時利用が出来ないため、利用者によっては極めて不便である。また、トイレ内からはドアに手が届かないので、声を発しなければ使用中であることが伝えられない構造となっている。

設計段階における利用者の視点からの検討が不十分であり、改修等も含めた検討と対応が必要と思われる。

今後、適切な維持管理が図られるとともに、観光振興に寄与する施設となるよう努められたい。

④ 宇川統合簡易水道 宇川浄水場新設工事

宇川簡易水道(昭和30年創設)と隣接する此代簡易水道(昭和29年創設)は施設が老朽化しており、需要量の増加と水源水量の減少により、これらを統合し、新水源による浄水場を設置し、膜ろ過設備を導入するとともに配水系統を見直し、清浄な安全供給を図るために実施している。

本事業は平成16年度から20年度までの継続事業であり、平成17年度は、取水さく井、取水ポンプ室1室、原水槽2池、浄水池2池、排水池1池、浄水場敷地造成等を施工している。

今後、膜ろ過室、水質計器室、薬注室等の主要施設や除マンガン装置、浄水場敷地整備等が計画されているが、より安全な生活用水の安定供給の確保に向けて早期の完成を期待するものである。

また、完成した一部施設については適切な管理保全に努められたい。

⑤ 周枳地区管渠布設工事（その 39）

大宮町内の公共下水道を整備することにより、生活環境の改善と公共用水域の保全を図るため下水道管渠の布設を計画的に実施している。

平成 17 年 12 月の工事請負契約であり、工期は平成 18 年 7 月で翌年度繰越事業となっている。工事内容は、開削管渠工 464m、推進管渠工 57m で事業進捗率は 43% である。

今後、工期内完成、適正完工に向けて、引き続き努力されたい。

⑥ 浜詰漁港(夕日泊地)網野漁場 地域水産物供給基盤整備工事

浜詰漁港は大型定置網漁業を主としているが、網直し等の用地が不足しており、また、漁港西側に防波堤が無い場合、波浪時には漁船の安全係留が出来ないため、久美浜湾へ避難している状況である。

これらの問題を改善するため、防波堤、係船岸、臨港道路、用地等の基本施設を平成 14 年度から 23 年度までの 10 年継続事業で整備を行っている。

平成 17 年度においては、夕日第 3 防波堤本体工・上部工(50m)及び漁礁の製作・据付工事を行っている(事業費 7,875 万円)。

全体事業費は 10 億 6,500 万円であり、平成 17 年度末で 3 億 5,090 万円を執行しており、進捗率(事業費)は 32.9%である。

今後、西防波堤、係船岸、臨港道路の整備及び公有水面の埋め立てによる用地拡大(1,500 m²)等の工事が計画されている。

浜詰漁港における正組合員は 32 名(別に準組合員 28 名)であるが、50 才代以上が 6 割を占め、年々、組合員数も減少傾向にある。

漁港整備による就労環境の改善と漁港利用の増大により、漁業所得の向上と安定はもとより、就労の拡大と海業の活性化が図られることを切望するものである。